

東社協3か年計画（令和4～6年度） 重点事業進捗状況 総括表（令和5年8月末現在）

IV 幅広い市民参加・多様な主体の協働の推進による地域づくり

	今年度までの取組み・達成状況	課題	今後の取組み
<p>9</p> <p>企業ボランティアの推進 (30 号)</p> <p>東京ボランティア・市民活動センター</p>	<p>コロナ禍において在宅やオンラインで参加できるようになりリモート・ボランティアのプログラムを数多くの NPO・福祉施設と実施し、企業の社員やその家族がボランティアとして参加した。</p> <p>○2022 年は、TVAC に過去に相談があり、現在も連絡がとれる企業 645 社で CSR や社会貢献担当など災害時に被災地を支援する担当部署に「企業との災害時の連携に関するアンケート調査」を実施（回答 58 件）</p>	<p>多くの企業や非営利団体をつなげるためには、地域のボランティアセンターと協働して何ができるかを一緒に考える機会をつくることことが必要</p> <p>SDGs の流れで中小企業や大企業のグループ会社・支店からの相談が増えている。</p> <p>社員やその家族が参加できるような活動プログラムを増やすことが求められる。</p>	<p>地域のボランティアセンターと企業との連携状況を調べ、災害や子どもの貧困などのテーマを中心に、地域の団体と企業との協働を進める。</p> <p>SNS を積極的に活用し、より多くの企業や社員にアプローチする。</p> <p>災害の調査を活用し、東京都災害ボランティアセンターと企業との連携を具体化するとともに、地域のボランティアセンターや NPO とのつながりを作っていく。</p>

	今年度までの取組み・達成状況	課題	今後の取組み
<p>10</p> <p>地域福祉活動とボランティア活動の連携強化 (31 号)</p> <p>地域福祉部、東京ボランティア・市民活動センター(TVAC)</p>	<p>令和 4 年 9 月に「コロナ禍で顕在化した地域課題への区市町村社協の取組み状況アンケート」を実施し、地域活動への若手の参加や大学、企業等との連携に関する課題について把握した。(地域福祉部)</p> <p>令和 4 年 11 月に実施した地域福祉権利擁護事業専門員研修では、地域福祉権利擁護事業と地域福祉コーディネーターの連携事例を事前アンケートで集めたところ、ボランティアセンターとの連携も多くみられた。(地域福祉部)</p> <p>令和 5 年 6 月に地域福祉部と TVAC が連携し、3 年ぶりの対面による関東ブロック組織・ボランティア担当研究協議会を当番県として主催した。(地域福祉部)</p> <p>区市町村における子ども食堂ネットワークの連絡会と関係者向け学習会を開催した。企画メイトを募り企画をしている。(以降連絡会 3 回・学習会 4 回) (TVAC)</p> <p>関東地区大学ボランティアセンターネットワークを開催（設立総会 2022 年 5 月。以降研究会 4 回開催）(TVAC)</p> <p>企業・非営利団体・TVAC で、さまざまなプログラムを開発・実施 (TVAC)</p>	<p>地域福祉活動における企業・大学との連携においてボランティア活動とのつながりが考えられる。(地域福祉部)</p> <p>ひきこもりやヤングケアラーなどの課題に対して地域福祉コーディネーターとボランティアセンターがそれぞれの支援の特性を活かした取組みをすすめていく必要がある。(地域福祉部)</p> <p>重層的支援体制整備事業や生活支援体制整備事業における地域の居場所づくりにおいて、地域福祉コーディネーターとボランティアセンターと連携した取組みが必要となる。(地域福祉部)</p> <p>子ども食堂は各地区で数が増えており、地域で横のつながりをつくる「場づくり」をすすめる支援が必要 (TVAC)</p> <p>大学ボラセンの認知度向上が必要 (TVAC)</p> <p>企業・非営利団体・TVAC で開発・実施しているさまざまなプログラムを、地域のボランティアセンターも含めてより広く展開できるよう戦略的な仕掛けが必要 (TVAC)</p>	<p>地域福祉コーディネーターとボランティアセンターの活動事例としてコロナ禍で顕在化した地域課題」に対する区市町村社協の実践について、令和 5 年度は①コロナ禍で停止した地域活動の再開に関する課題、②地域活動への若手の参加や大学、企業等との連携に関する課題、③福祉教育・次世代育成に関する課題に関わる取組みを事例集としてまとめ、広く発信していく。(地域福祉部)</p> <p>令和 5 年 11 月 16 日に地域福祉部と TVAC で連携し、関東ブロック組織・ボランティア担当研究協議会を区市町村社協や NPO のフィールドを訪問して開催し、都県社協による区市町村社協支援のあり方を考える機会とする。(地域福祉部)</p> <p>区市町村における子ども食堂連絡会の連絡会や学習会は、継続的に実施する。(TVAC)</p> <p>コロナによって薄くなってしまっている地域でのつながりを再構築し、市民の参加が進められるよう支援のあり方を検討する。(TVAC)</p> <p>大学・短大等における学生ボランティア支援連絡会でのテーマ等を関東地区大学ボランティアセンターネットワークにも相談しながら開催していく。(TVAC)</p>